

科目名	コンピュータシステム IA							
科目名(英)								
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	瑠璃垣 孝一		
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年							
授業概要	情報化に主体的に対応するための基礎的な知識、またクライアント環境のパソコンの操作、利用と役割、機能、および情報の利用、情報モラル、セキュリティなどに関わる基礎知識を学ぶ。基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して知識の習熟を高める。							
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標		
	○					情報技術に関する基礎的な専門用語について学び、意味を説明することができる。		
	○					情報機器について、性能、特性や機能を理解し、適切に活用できるようにする。		
	○					情報社会における様々なシステムについて学び、適切に説明できるようにする。		
	○					情報モラルの用語と行動の適切性を学び、WebやSNSで適切な行動をとれるようにする。		
	○					OS、マルチメディア、データベースについて学び、その仕組みと活用法について説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	留学生のためのITリテラシー(インフォテック・サーブ)、情報活用試験3級過去問題							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1-2	情報とは、情報の検索方法、問題の解決						
	3-4	パソコンの構成としきみ、オペレーティングシステム、ファイルの管理						
	5-6	さまざまなプログラム言語						
	7-8	インターネット、LAN、プロトコル、IPアドレス						
	9-10	サーバの種類、WWWの仕組みと利用、電子メール						
	11-12	アプリケーションソフトの利用						
	13-14	コンピュータシステムと生活の変化、ビジネスの変化						
	15-16	コンピュータやネットワークの悪用、健康への影響						
	17-18	情報社会と情報モラル、知的財産権と著作権						
	19-20	ネットワークとセキュリティ、情報活用のルールとマナー						
	21-22	過去問題集演習・解説				これまでの範囲を復習しておくこと		
	23-24	過去問題集演習・解説				これまでの範囲を復習しておくこと		
	25-26	過去問題集演習・解説				これまでの範囲を復習しておくこと		
	27-28	過去問題集演習・解説				これまでの範囲を復習しておくこと		
	29-30	過去問題集演習・解説				これまでの範囲を復習しておくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題・レポートを実施する。(3)授業の中で課題を指示する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	定期試験	◎	◎			60%		
	課題・レポート	○	○		○	20%		
	受講状況				○	20%		
履修上の注意								

科目名	組込みソフトウェア開発演習									
科目名(英)										
単位数	8単位	時間数		120時間	担当者	浜地 啓				
実施年度	2020年度	実施時期		前期	担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年									
授業概要	組込みシステムの構築において必須となるC言語。まずは文法の理解と主な関数の使用方法を学習する。また、C言語検定3級の問題解答やプログラミング作成演習を通して、C言語の基礎知識の定着を目指す。									
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△					
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					変数宣言、条件分岐、繰り返しを使ったプログラムを作成できる				
	○	○				C言語のデータ型と演算子の種類を説明できる				
	○		○			C言語プログラミング検定3級を合格できる				
テキスト・教材参考図書	Cの絵本 ((株)アンク)									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1~4	概要 Cの歴史と特徴、基本的なプログラム								
	5~8	変数、型、printf()								
	9~12	演算子 計算								
	13~16	制御文 if、switch 演算子 比較、論理								
	17~20	制御文 for、while								
	21~24	配列 文字列、多次元配列								
	25~28	関数 定義、呼び出し								
	29~32	関数 変数のスコープ、引数の受け渡し、再帰								
	33~36	プログラムの構成 ヘッダファイル、マクロ								
	36~40	文字操作関数 <ctype.h>								
	41~44	これまでのまとめ				これまで学習した内容を見直しておくこと				
	45~48	C言語プログラミング検定3級問題 (1)								
	49~52	C言語プログラミング検定3級問題 (2)								
	53~56	C言語プログラミング検定3級問題 (3)								
	57~60	C言語プログラミング検定3級問題 (4)								
評価方法	(1) C言語プログラミング検定3級を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(80%以上で合格)・A(70%以上で合格)・B(60%以上で合格)・C(50%以上)・D(50%未満)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他				
	C言語プログラミング検定3級	○				80%				
	授業態度				○	20%				
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。									

科目名	IT応用 IA							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	原田 寛子		
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年							
授業概要	<p>世界中多くの企業で使用されるOffice製品。この授業では、卒業後の日本での就労を想定して、日本版のOfficeを使用し、1年次に身につけたスキルをさらにブラッシュアップする為、日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験 表計算3級合格を目指し、必要なスキルを習得する。</p> <p>また、日本語入力のさらなるスキルアップの為、毎日パソコン入力コンクールを目指す。</p>							
授業形式	講義: <input checked="" type="triangle"/>	演習: <input checked="" type="circle"/>	実習: <input type="triangle"/>	実技: <input type="triangle"/>	※ 主たる方法: <input checked="" type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標		
	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				ローマ字入力を用いて複雑なタイピング操作ができる。		
	<input checked="" type="radio"/>					Excelの表作成機能を用いて体裁よく表作成ができる。		
	<input checked="" type="radio"/>					Excelの関数機能を用いて効率的な計算ができる。		
テキスト・教材 参考図書	P検タイピング練習 インターネット版(ソーシャル投稿非対応 学校内利用推奨) https://www.pken.com/tool/typing.html							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	タイピング復習・毎日パソコンコンクール演習						
	2	毎日パソコンコンクール演習・Excel基礎復習				Excelの基本操作を復習しておくこと。		
	3	四則演算・セル参照				四則演算の復習をしておくこと。		
	4	絶対参照と構成比率の計算				セル参照の復習をしておくこと。		
	5	罫線処理と表示形式						
	6	オートSUM・合計・平均・最大値・最小値						
	7	並べ替えと順位				関数の使い方の復習をしておくこと。		
	8	端数の処理						
	9	条件分岐						
	10	複雑な条件分岐				条件分岐の復習をしておくこと。		
	11	検定対策①						
	12	検定対策②						
	13	検定演習						
	14	実務的な関数						
	15	総合演習						
評価方法	<p>(1)授業の中で課題を作成する。(2)出席回数を評価する。(3)授業態度を評価する。(4)検定試験の結果を評価する。</p> <p>以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	検定試験	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		60%		
	課題作成	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			20%		
	出席状況・授業態度	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	20%		
履修上の注意	課題は毎回忘れずに提出すること。2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	言語ⅡA・B									
科目名(英)										
単位数	2単位	時間数		30時間	担当者	田中・刀根・安部・黒岩・染矢				
実施年度	2020年度	実施時期		前期	担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年									
授業概要	言語の基本は語彙である。理解し使用できる語彙を増やしていくことは日本で仕事をする上では必須条件である。そのため、身近なテーマから語彙の知識を深めていき、中級レベル以降の文字・語彙をつかった表現の習得を目指す。									
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△					
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標				
	○					中級レベル以上の文字・語彙を覚え、自分の言葉で説明できる。				
		○				使用場面に合わせて適切な語彙を選択できる。				
テキスト・教材 参考図書	身近なテーマから広げる！ ほんご語彙力アップトレーニング 初級がおわってからレベル(アスク出版 2015年)									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	自己紹介・授業の説明				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	2	電子レンジでチンする ~料理~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	3	寒気がする ~病気・症状~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	4	カジュアルな感じ ~服選び~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	5	発想力が豊か ~性格~				定期テストの準備をしてくる。(1時間)				
	6	定期テスト				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	7	実力養成テスト				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	8	2LDKの高層マンション ~家探し~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	9	価値観が合う人 ~結婚~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	10	桜が舞う ~季節~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	11	猫の手も借りたい ~慣用句・ことわざ~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	12	富士山 ~世界遺産・名所紹介~				本日の授業の復習をする。/ 次回の予習をしてくる。 進出語彙は意味を調べて覚えてくる(1時間)				
	13	50%を占めている ~グラフ~				定期テストの準備をしてくる(1時間)				
	14	定期テスト								
	15	まとめ								
評価方法	中間テストおよび確認テスト(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他				
	定期テスト	◎	◎			50%				
	小テスト	◎	◎			30%				
	出席・授業態度				◎	20%				
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。									

科目名	言語ⅡA・B							
科目名(英)								
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	田中・刀根・染矢・伊東・黒岩・徳田・諸賀			
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験				
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年							
授業概要	N2レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加えてより幅広い場面で使われる日本語が理解し、運用できるようになる							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標		
	○					日常のより幅広い場面で必要なN2レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる		
	○					フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切な文法の使い分けができる		
	○					学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる		
テキスト・教材参考図書	TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語(アスク出版 2013年)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1-2	自己紹介・授業の説明/お知らせを読む				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	3-4	お知らせを読む				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	5-6	スピーチをする				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	7-8	スピーチをする				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	9-10	スピーチをする / 説明を聞く				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	11-12	説明を聞く				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	13-14	ニュースを聞く				本日の授業の復習をする。/ 定期テストの準備		
	15-16	定期テスト				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	17-18	友達同士の会話				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	19-20	友達同士の会話				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	21-22	友達同士の会話				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	23-24	友達同士の会話				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	25-26	論文を読む				本日の授業の復習をする。/ 次回授業の予習と「やってみよう」を理解してくる(1時間)		
	27-28	論文を読む				本日の授業の復習をする。/ 定期テストの準備		
	29-30	定期テスト						
評価方法	中間テストおよび確認テスト(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	定期テスト	◎	◎			50%		
	小テスト	◎	◎			30%		
	出席・授業態度				◎	20%		
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。							

科目名	言語 II A・B							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	刀根・安部・伊東・平城		
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年							
授業概要	N1レベルの聴読解問題に取り組み、実生活の幅広い場面で必要な読み聴きの力を習得することを目的とする。							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					N1レベルの語彙や表現を習得し、使用言語域を拡大することができる。		
	○					耳からの情報だけで話の要点を掴み、内容を理解し適当な応答をすることができます。		
	○					文章を正しく読み取り、文脈や話の意図を理解し説明できるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	新完全マスター聴解 日本語能力試験N1(スリーエーネットワーク 2011年) 日本語総まとめ N1 読解 [英語・ベトナム語版](アスク出版 2019年)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	授業概要説明／聴解：問題紹介／読解：第1週1日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	2	聴解：I 音声の特徴に慣れる／読解：第1週2日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	3	聴解：II「即時応答」のスキルを学ぶ(1)／読解：第1週3日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	4	聴解：II「即時応答」のスキルを学ぶ(2)／読解：第1週4～5日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	5	聴解：即時応答練習問題／読解：第1週6日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	6	読解：第1週7日目 実践問題				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	7	聴解：III「課題理解」のスキルを学ぶ(1)／読解：第2週1日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	8	聴解：III「課題理解」のスキルを学ぶ(2)／読解：第2週2～3日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	9	聴解：III「課題理解」のスキルを学ぶ(3)／読解：第2週4日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	10	聴解：「課題理解」練習問題／読解：第2週5～6日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	11	読解：第2週7日目 実践問題				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	12	聴解：IV「ポイント理解」のスキルを学ぶ(1)／読解：第3週1日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	13	聴解：IV「ポイント理解」のスキルを学ぶ(2)／読解：第3週2日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	14	聴解：IV「ポイント理解」のスキルを学ぶ(3)／読解：第3週3日目				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
	15	定期試験				わからない出語や表現はノートにまとめ、必ず家で復習すること(1時間)		
評価方法	(1)小テストを数回実施する。(2)宿題を課すことがある。(3)定期試験(筆記・聴解)を実施する。 (4)出席状況、授業態度も評価の観点とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	◎				50%	
	小テスト	◎	◎				30%	
	宿題・出席・授業態度				○		20%	
履修上の注意	進度は状況によって変更する場合があります。							

科目名	一般教養 I									
科目名(英)										
単位数	2単位	時間数		30時間	担当者	原田 寛子				
実施年度	2020年度	実施時期		前期	担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年									
授業概要	言語と非言語の文章題を解く事により、社会人として必要となる基礎知識を身につけることを目標とする。									
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△					
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標				
	○					日本で生活をする上で最低限必要となる漢字の問題を解くことができる。				
	○					数的な問題の基本を理解し、自分の力で問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	オリエンテーション、就職適性検査の説明、漢字								
	2	SPI対策(仕事算)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	3	SPI対策(仕事算)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	4	SPI対策(鶴亀算)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	5	SPI対策(鶴亀算)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	6	SPI対策(損益算)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	7	SPI対策(損益算)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	8	SPI対策(速さ・時間・距離)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	9	SPI対策(速さ・時間・距離)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	10	SPI対策(場合の数)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	11	SPI対策(場合の数)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	12	SPI対策(確率)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	13	SPI対策(確率)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	14	SPI対策(割引・割合)、漢字				漢字の確認テストの準備をしてくる				
	15	SPI対策(割引・割合)、漢字				正試験に向けての準備をしておくこと				
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)確認テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他				
	定期試験	○	◎			60%				
	確認テスト	○				20%				
	授業態度・出席状況				◎	20%				
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。									

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡA									
科目名(英)										
単位数	2単位	時間数		30時間	担当者	寺崎・平城				
実施年度	2020年度	実施時期		前期	担当者実務経験					
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年									
授業概要	企業内、ビジネス場面で想定される会話が理解でき、日本独自のコミュニケーション技法やマナーも踏まえて発話、応答できるようになるための語彙、文法を学び、会話練習を通して実践力を養う。授業はテキストに沿って行う。									
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△					
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標				
	○					日本企業で働くにあたって必要な語彙を意味がわかり、自分の言葉で説明できる				
	○					相手から発せられた会話が理解でき、適切な応答ができる				
	○					適切な語彙、マナーや日本の習慣、慣習も踏まえた発話ができる				
テキスト・教材参考図書	『人を動かす!実戦ビジネス日本語会話【中級1】』(スリーエーネットワーク 2016年)									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	授業概要説明、第1課 「新人を歓迎する」								
	2	第1課 「新人を歓迎する」								
	3	第1課 「新人を歓迎する」								
	4	第1課 「新人を歓迎する」				第2課の会話確認				
	5	第2課 「仕事の引き継ぎをする」								
	6	第2課 「仕事の引き継ぎをする」								
	7	第2課 「仕事の引き継ぎをする」								
	8	第2課 「仕事の引き継ぎをする」・中間テスト				第3課の会話確認				
	9	第3課「取引先を訪問する」								
	10	第3課「取引先を訪問する」								
	11	第3課「取引先を訪問する」								
	12	第3課「取引先を訪問する」				第4課の会話確認				
	13	第4課「営業報告会に出る」								
	14	第4課「営業報告会に出る」								
	15	第4課「営業報告会に出る」・まとめ				期末試験のための復習				
評価方法	(1)次の授業で前回の新出語彙について小テストを実施する (2)宿題を数回課す (3)中間テストを実施する (実施回は進度によって変わることがある) (4)定期試験(筆記)を実施する。 (5)出席状況、授業態度も評価の観点とする 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他				
	定期試験	◎	◎			50%				
	小テスト・中間テスト	◎	◎			30%				
	出席・授業態度				◎	20%				
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。進度は状況によって変えることがある。									

科目名	接遇演習A							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	姫島 幸子		
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年							
授業概要	1)日本でのビジネス場面で、必要なマナーについて知識を得る 2)1)を踏まえて電話を受ける・名刺交換ができるようになる							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○	○			第一印象を大切にした挨拶を常にできる		
	○	○				正しい敬語で受け答えができ、相手に良い印象を与えるポイントを説明できる		
	○					日本独特のしきたりを理解し、正しいマナーを日本語で説明できる		
	○		○			愛想のよい電話の受け方ができる		
	○					あらゆるサービスの場面で適切な応対の仕方を選択肢から選ぶことができる		
テキスト・教材参考図書	参考:サービス接遇検定3級実問題集・プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	第一印象・感じのいい自己紹介						
	2	第一印象・入退室				ロールプレイングのための課題をすること		
	3	敬語・書類の渡し方				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること		
	4	指示し方・物の拾い方、渡し方						
	5	日本における感じのいいビジネスパーソンの髪型、服装						
	6	日本における冠婚葬祭時のしきたりとマナー				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること		
	7	電話練習①基本的な言葉の練習				ロールプレイングのための課題をすること		
	8	電話練習②メモをとりながら、電話を受ける				ロールプレイングのための課題をすること		
	9	電話練習③クレームをうける				ロールプレイングのための課題をすること		
	10	電話練習④企業訪問依頼の電話/受験の際にもし遅刻しそうになつたら/会社の場所がわからなかつたら						
	11	文書練習①送付書を書いてみる				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること		
	12	文書練習②案内状を書いてみる				次週、確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること		
	13	サービス接遇検定3級にチャレンジ						
	14							
	15	まとめ・期末試験対策						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを適宜実施する。 (2)学習したことをロールプレイングで表現する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	確認テスト	○	◎			60%		
	態度・意欲・出席				○	20%		
	ロールプレイング		○	○	◎	20%		
履修上の注意	授業で学んだことは、アルバイトなど、日常生活の中で実践すること 各テストで60点以上得点できるよう、必ず授業の復習を行うこと。							

科目名	ビジネス英語 II							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	田中 雅彦		
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科2年							
授業概要	国際化が進む日本において、訪日外国人への対応はますます重要になっている。広く使用されている英語の運用能力を高めるために、英語の語彙や文法表現を復習し、TOEICの聴解問題も利用して、英語力を高めていく。							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標		
	○	○				日常からビジネスシーンで使える語彙を増やし、正しい使い方が選択できるようになる		
	○	○				TOEICの問題を解くことで、それぞれのシーンで使用される表現を選択できるようになる		
テキスト・教材 参考図書	プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	自己紹介・授業の説明・リスニング問題で実力を測る				新出語彙の復習をしてくる		
	2	筆記問題で実力を測る				新出語彙の復習をしてくる		
	3	写真や図について英語で説明する				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	4	英語の基本的な応答を学ぶ				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	5	英語のさまざまな応答を学ぶ				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	6	会話を内容を理解する				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	7	説明文の内容を理解する				定期テストの準備をしてくる		
	8	定期テスト				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	9	正しい語彙の選択をする				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	10	短い文章を読み解く				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	11	チラシや告知などの内容を読み解く				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	12	比較的長い文章を読み解く				新出語彙の復習をしてくる、授業の復習をしてくる		
	13	リスニング問題で実力を測る						
	14	筆記問題で実力を測る				定期テストの準備をしてくる		
	15	定期テスト						
評価方法	定期テストおよび小テスト(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	定期テスト	◎	◎			50%		
	小テスト	◎	◎			30%		
	出席・授業態度				◎	20%		
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。授業計画は状況により変更になることがある。							